

2023年11月7日
avatarin 株式会社
中部国際空港株式会社

中部国際空港セントレアにてアバターロボットを活用した案内業務の実証を実施します ～2023年度あいちデジタルアイランドプロジェクトの一環として実施～



ANA ホールディングス発のスタートアップである avatarin 株式会社（代表取締役 CEO：深堀 昂、以下「avatarin(株)」）と中部国際空港株式会社（代表取締役社長：犬塚 力、以下「中部国際空港」）は、avatarin(株)が愛知県から今年度に受託した 2023 年度あいちデジタルアイランドプロジェクト^{*1}^{*2} のもとで、アバターロボット「newme（ニューミー）」を活用し、中部国際空港の案内業務の実証実験^{*3}を行います。

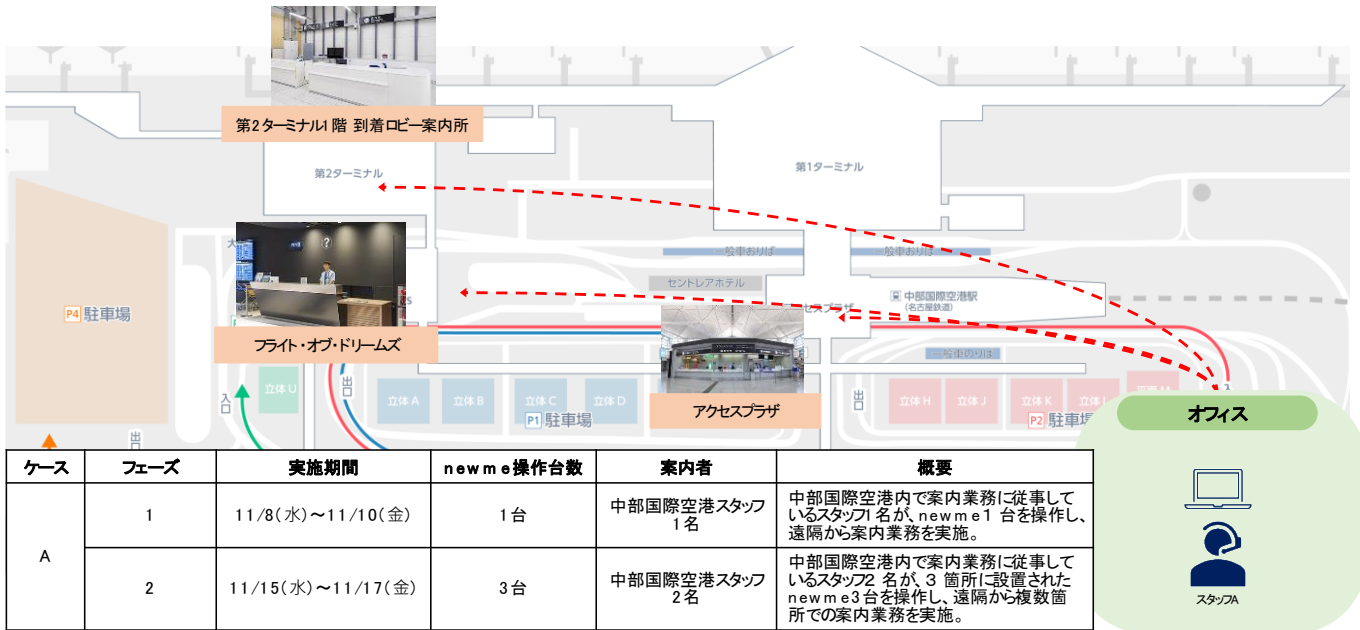
本実証は、広い空港内でのスタッフの移動時間の軽減等の効率化及び省人化を目指すとともに、運航便に合わせて遠隔地にいる人材リソースがアバターロボットを活用して案内が可能かどうかの検証を目的に実施します。そして、スキルを持った人材が全国どこからでも必要なタイミングで就労が可能となることで、今後予想される航空業界の人手不足の課題解決に繋げていきます。

本実証では、中部国際空港内の業務経験の有無に応じて、以下の2つのケースに分けて行います。

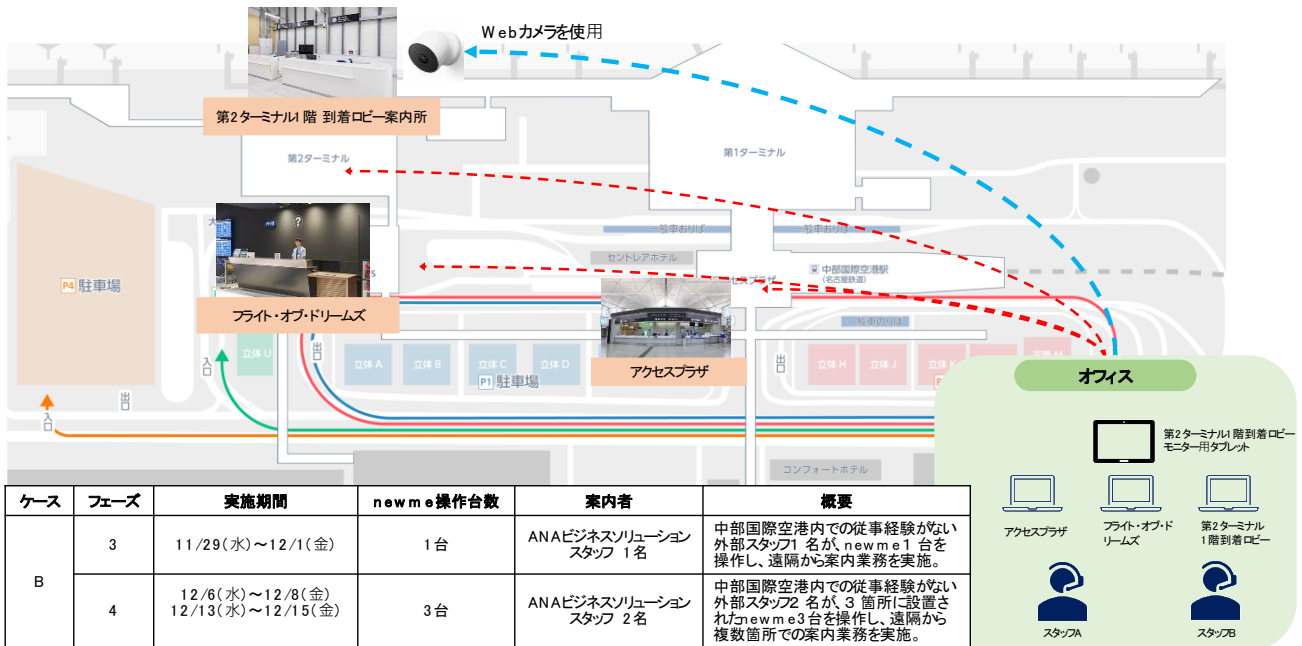
- A) 中部国際空港の案内業務に従事しているスタッフのケース
中部国際空港の案内業務に従事しているスタッフが、オフィスから newme を操作し、遠隔での案内を行います。1名のスタッフが1台の newme を操作するケースから始め、2名のスタッフが3台の newme を操作するケースまで実証を実施します。
- B) 中部国際空港の案内業務に従事経験のないスタッフ（ANA ビジネスソリューション）のケース
中部国際空港の案内業務に従事経験のないスタッフが、東京の avatarin(株)のオフィスから newme を操作し、遠隔での案内を行います。1名のスタッフが1台の newme を操作するケースから始め、2名のスタッフが3台の newme を操作するケースまで実証を実施します。

◆実証概要

- 日 時： 2023年11月8日(水)～2023年12月15日(金)の期間のうち
毎週水曜日から金曜日までの3日間
※2023年11月22日(水)～2023年11月24日(金)は実施せず。
- アバター設置場所： 中部国際空港内3か所（アクセスプラザ案内所／フライト・オブ・ドリームズ案内所
／第2ターミナル到着ロビー案内所）
- アバター操作場所： 中部国際空港オフィス及びavatarin(株)オフィス（東京都中央区）
- アバター操作(案内)者： 中部国際空港スタッフ及びANAビジネスソリューションズスタッフ
- 実証イメージ：
ケースA



ケースB



出典：フロアマップ 中部国際空港 セントレア (<https://www.centrair.jp/map/index.html>)

アバターロボットを活用した実証実験の御案内や当日の様子などは、以下の Web サイトにて公開しています。
(Web サイト : <https://about.avatarin.com/areasolution/aichi/digital2023/>)

avatarin(株)と中部国際空港は、本実証をきっかけに、アバターロボットがデジタルアイランドの一つのインフラとなり、中部国際空港島及び周辺地域が高度にデジタル化されることを目指します。

- ※1 あいちデジタルアイランドプロジェクト
愛知県が昨年度立ち上げた、中部国際空港島及び周辺地域を、5 G等デジタル技術を活用したオープンイノベーションフィールドに位置付け、2030 年に世の中での普及が見込まれる近未来の事業・サービスを、当エリア内において先行して実用化することを目指すプロジェクト
- ※2 avatarin 株式会社ニュースリリース
2023 年度あいちデジタルアイランドプロジェクト推進事業においてアバターロボットに関する事業を 2 件受託しました
<https://about.avatarin.com/info-news/news-release/7904/>
- ※3 愛知県記者発表資料
アバターロボットを活用した実証実験を実施します！
<https://www.pref.aichi.jp/press-release/aichi-digital-island-pj/aichi-digital-island2023-1031.html>

以 上

◆avatarin(株)について

avatarin（アバターイン）株式会社は「移動の民主化～すべての人が持続的にいつでもどこでも自由に移動できるように～」を目指したANAホールディングス発のスタートアップです。これまでの移動の概念を見直し、肉体の移動ではなく、あらゆるロボットやモビリティに人の意識、技能、存在感を伝送する新たな移動サービスの普及に取り組んでいます。また、独自開発の通信プロトコルや遠隔AIモジュールなどを通じて、遠隔操作の高速化や遠隔操作からのAI化に挑戦しています。

<https://about.avatarin.com/>

◆avatarin(株)の目指す未来、今後の展開

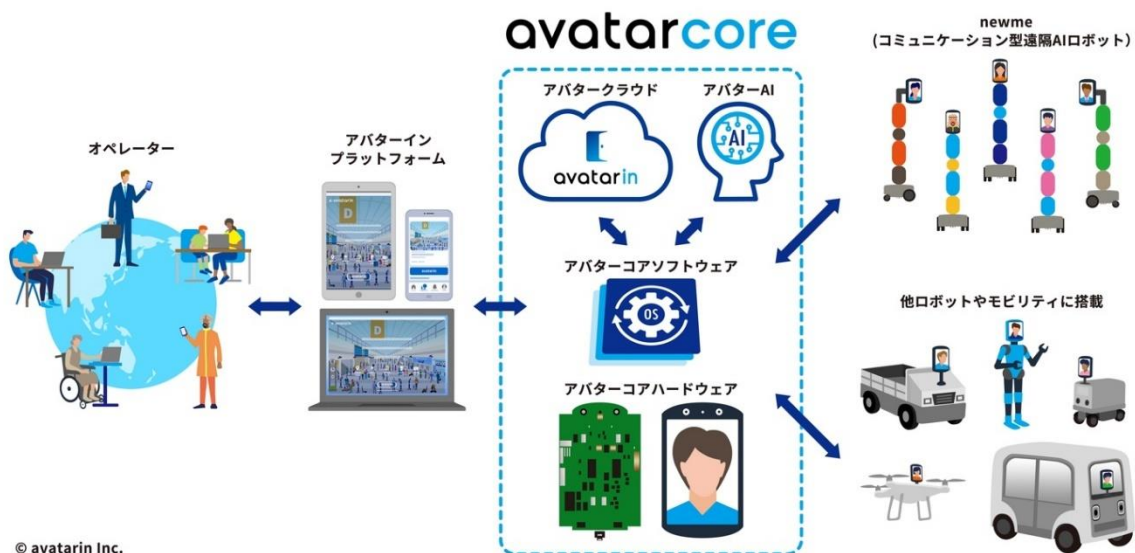
アバター技術を活用した社会課題解決のビジョンを実現するための鍵となる技術として、「avatar core®（アバターコア）」の独自開発に取り組んでいます。ハードウェアに加え、ソフトウェア、クラウド及びAIを組み合わせることで、超低遅延で大容量の映像や音声、制御データなどをインターネット経由で高速伝送することを可能にするシステムモジュールとして、ロボットやモビリティに搭載し、遠隔制御やAI学習での活用を目指しています。

avatar core®の研究・開発において、現在は2つのプロダクト「newme（ニューミー）」及び「アバターコアハードウェアとソフトウェア」を軸に開発を進めています。

newmeは遠隔で自由に動きまわりながらコミュニケーションをとることができる遠隔AIロボットであり、2021年より水族館や美術館などで運用を始めています。今後は、国内空港をはじめ、海外空港やホテル、病院、役所、駅、コンビニなどサービス案内業務、誘導などが必要な現場を中心として順次展開をしていきます。

アバターコアハードウェアとソフトウェアについては、今後登場するさまざまなロボットや自動運転車、ドローンなどのモビリティ等に搭載していきます。遠隔からの超低遅延リアルタイム制御を実現するとともに、AI学習によって人の能力を拡張することを目指します。

世界ではロボティクスやAIによる人の作業代替を加速させる技術が注目されていますが、avatarin(株)は、人の享受する体験価値の向上に繋がる身体能力拡張のためのロボティクスやAI技術を追求しています。人が必要とする場所へ、年齢を問わず、気軽に移動することを実現するほか、これまでその人ができなかったことをアバターで能力拡張し、できるようにしていく世界を創っていきます。あらゆる人がアバターという持続可能で気軽に誰もが利用できる乗り物で未知なる場所に瞬間移動することができたり、新たな人と出会うことができたり、毎日がワクワクするようなライフスタイルを日本から世界に提案していくことを目指します。



© avatarin Inc.

avatar core®概念図